

## サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成30年8月24日（金） 16時00分～18時00分
2. 開催場所：文部科学省情報ひろばラウンジ（東京都千代田区霞が関3-2-2）
3. 関係団体等：芝浦工業大学、早稲田大学、国立環境研究所、文部科学省
4. 役割  
司会：所 千晴（早稲田大学教授、日本学術会議第三部会員）  
講師：大倉 典子（芝浦工業大学教授、日本学術会議第三部会員）
5. 概要：  
テーマ「わくわく感のはかり方-感性を工学する」  
講演内容：
  - わくわく感体験（開始前時間、休み時間）：振動によって手元のコップにビー玉が入ったかのように錯覚する体験を楽しんだ。
  - 講義（16:00-17:00）：感性工学をご専門とされる大倉先生のご研究を紹介いただいた。脳波などの生体信号を測定することで、安心感やわくわく感などの感性を数値的に考察し、その工学的な利用を目指したご研究についてご紹介いただいた。
  - 脳波測定体験（17:15-17:40）：参加者の中から2名が体験した。
  - ワークショップ（17:40-18:00）：わくわく感の測定技術の社会的な活用法について5~6名から成る5班でディスカッションし、各班がその結果を発表した。
6. 参加人数：  
講演者等：5名  
その他の参加者：25名
7. 特記事項：  
文科省や国環研、日本科学未来館などに協力いただき、各所にチラシなどで宣伝をしたが、小学生1名、高校生1名、大学生2名と、期待していた若年層の参加獲得が振るわなかった。一方、参加者の意識は大変高く、ワークショップも大変盛り上がった。